令和５年度　第４回　合川小学校　学校運営協議会　兼　学校保健委員会

１　日　時　　令和　５年　１０月　２６日（　木　）１５：００　～　１６：００

２　場　所　　レインボーホール

３　あいさつ（学校長，委員長）

（１）　学校長あいさつ

就学時健診でお世話になった先生方の紹介

学校医	みその内科クリニック	三谷　英嗣先生
学校歯科医	野町歯科医院	呉山　章浩先生
学校薬剤師		金丸　邦子先生

（２）　学校保健委員会委員長（学校医）あいさつ

新型コロナウイルス感染症　先週１５５　先々週１６０　少しずつ減少

それに対して，インフルエンザは増加傾向

手洗い・うがいをして予防することが大切

４　協議事項

（１）本校の子どもたちの様子（養護教諭より）

〇子どもたちの健康について

① 身長・体重の平均値

② 栄養状態

③ 各種健康診断結果

④ １学期保健室来室状況

⑤ スポーツ振興センター利用状況

⑥ 学校環境衛生検査結果

照度検査，飲料水検査，衛生害虫等検査　いずれも異常なし

飲料水（施設・設備）検査　修理必要箇所報告・対応済み

⑦ 熱中症対策

熱中症指数モニター（暑さ指数を測定する機械）を購入。

休み時間の外遊びが安全にできるかどうかについて，養護教諭が１０時と１３時に測定。その結果を保健給食委員の児童が全校放送で伝え，注意喚起した。また，職員室のホワイトボードと保健室の前にもその日の暑さ指数を掲示した。

体育の授業については，授業実施前に担任が体育館や運動場で測定し，結果を記録簿に記録し，適宜水分補給や休憩を取りながら授業を実施した。

〇子どもたちの様子，保健指導など

身体測定後に保健指導を実施

〈９月〉　１・２・３年生　プライベートゾーンについて

　　　　　４・５・６年生　熱中症について

〈１月〉　１・２・３年生　排便習慣について（予定）

　　　　　４・５・６年生　インターネット機器との付き合い方について（予定）

保健室前には季節や保健目標に合わせ，保健給食委員の児童とともに作成した掲示物を掲示。今月は目のしくみや眼球体操，ビジョントレーニング

（２）　学校薬剤師　金丸　邦子 先生より

「市販薬の過剰摂取（オーバードーズ）について」

（３）意見交換

・資料２枚目　２０１４年と２０２０年を比較すると２０２０年に市販薬が倍増し，５０％を超えている。市販薬ならば犯罪にならないという意識や，インターネットで薬の作用についての情報があふれていることも要因なのでは。

・資料２枚目は割合のみを示す棒グラフで，その母数となる人数についての表記がないため，実数として増加しているのか横ばいなのかというところは不明だ。２０１４年に比べて２０２０年は覚せい剤や大麻等の使用が減少しているとは言い切れない。

５　その他

（１）　全国学力・学習状況調査の結果と学力向上の取組について

〈国語〉

・国語は無回答率が低い。

全体的な正答率は，全国値より低い。正答率の傾向を見ると，「知識及び技能」に関する問題が「思考力・判断力・表現力」に関する問題よりも正答率が低く，言語の特徴や使い方に関する事項に課題がみられた。特に，漢字や敬語の使い方が苦手で，基礎的・基本的な学力の向上が課題。「文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめる問題」や，「話の内容を捉え，話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめる問題」は，ある程度できていた。

〈算数〉

・算数は無回答率が国語より高く，領域により偏りが見られた。特に「図形」と「数と計算」の無回答率が高い結果となっている。算数の正答率は全国値より少し低く，特に「知識及び技能」に課題があった。領域としては，「数と計算（加法と乗法の混合した整数の計算）」「図形（三角形の底辺と面積の関係，正方形の性質）」，「変化と関係（百分率で表された割合）」「データの活用（複数の棒グラフを組み合わせたグラフの

読み)」に課題があり，どれも基礎的・基本的な学力の定着が必要だと考えられる。「思考力・判断力・表現力」については全国値とほとんど差がなく，選択式，短答式，記述式による正答率の偏りもなかった。

<u>〈調査結果を踏まえた取組〉</u>

・文章のキーワードを見つけたり，文の構成を読み取ったりすることができるように，ワークシート（市教育委員会提供）を積極的に活用する。特に，ワークシートの解説や直しを確実に行い，過去のワークシートをもう一度行うなど，各学年の実態に合わせて文章力の基礎や読み取りの力を育む。

・漢字を学習する際に，熟語や例文もしっかりと扱うことで実用的な知識の習得を行う。

・学校裁量の時間や家庭学習において，基礎・基本的な力の向上をめざした課題を行う。

・校内研修や放課後に教師の学習会を実施し，教員同士で教材や発問について学びあうなど，指導力の向上に努める。

〈児童質問紙調査〉

・児童質問紙調査では，家庭での学習時間が全国値と比較して少ない傾向にあり，特に土日は全国値との開きが大きくなっている。読書については，合川小学校の児童は，日ごろから本をたくさん読んでおり，読書が習慣づいている。自己肯定感の結果からは，自己肯定感は低いが自己有用感は高いという結果がわかった。

<u>〈調査結果を踏まえた取組〉</u>

・家庭学習は，量や質を見直したり，ICT を効果的に活用したりするなど，各学年に応じた適切な宿題の出し方を検討。また，「自主学習の手引き」を作成し，児童へ配付して自主学習の定着を図る。

・読書習慣は定着してきているため，今後も図書まつりや教師による読み聞かせ等を継続していく。

・新型コロナウイルス感染症が５類に移行し，学校行事が従来の内容に戻ってきている中で，様々な行事を通して責任感ややりがいを持たせ，成功体験を積み重ねることで，自己肯定感を高めていく。また，わかりやすい授業を実施し，児童の理解度を深めることで，学習における自己肯定感の向上もめざす。

（２）小規模特認校制度学校見学会　１１月６日（月）～１０日（金）見学期間
１１月６日（月）～３０日（木）募集期間
１２月１日（金）～　７日（木）面接期間

（３）次期鈴鹿市教育大綱及び鈴鹿市教育振興基本計画に係る意見提出について
（眞弓委員長より）

学校運営協議会の委員の皆様にお集まりいただいてご検討いただく日程が提出期限まで十分なかったため，代表として回答させていただいた。資料をお読みいただき，内容を共有したい。

（4）「１０分でわかる思春期の子育て」について（宮﨑ＰＴＡ会長より）
　１０月３日の三重県幼少中・高ＰＴＡ研修会において「思春期の子育て講演会」について聞いてきた。親と子の愛情のギャップ・ズレのお話がわかりやすかった。そこで紹介された子育てのヒントが書かれたリーフレットを取り寄せた。保護者には配付済み。

（5）「つながろう鈴鹿ネットワーク」開催に係るチラシ配付
（地域協働課協働推進グループより）

（6）今後の予定

（7）人権標語最優秀賞選定（投票）

6　コミュニティ・スクール推進コーディネーター　加藤先生より

オーバードーズ　鈴鹿市内の中学校でもそのようなケースが実際にある。
情報化社会になり皆様からのご指摘にもありましたようにいろいろな情報が入ってくる。
検討策をとっていきたいと考えている。
携帯電話の使い方については，この場でも話し合っていただければよいと思う。
全国学力学習状況調査の結果について，応用力がいいのは読書量が多いことがよい影響を与えているのではないか。このようないいところを伸ばしつつ，基礎基本の力も伸ばしていけるとよい。
自己肯定感については，合川小は少人数集団でのきめ細やかな指導をしてもらっていて，目も声かけもしっかりしてもらっていることと思う。新型コロナウイルスが５類感染症となって，復活する活動も出てくるので，そのような場で達成感を得られればよい。
家庭では指示をすることがどうしても多くなってしまう。学校から子どもの様子をたくさん発信してもらい家庭でも褒めてもらえるようにしていくとよい。
次期鈴鹿市教育大綱の回答機関が短かったことについてお詫び申し上げます。ご意見を集約し，策定作業を進められましたら，お示しする。
鈴鹿市がどんなことを大事にしていこうと考えているかについて，わかっていただけるのではないかと思うので，是非資料を読んでいただきたい。